



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数1,298戸
●人口3,794人
男性/1,874人 女性/1,920人
令和7年7月31日現在



夕方5時、焼きそばや唐揚げ、かき氷など、PTAや郵便局ほか地域団体が出店する多くの屋台も立ち並び、浴衣や甚平をまとった子どもたちでどこも大賑わい。トラック荷台の上で叩く伝統のたなばた太鼓には、子どもたちの行列ができるほどの人気で、大人とたなばた太鼓の「競演？」に大喜び。



一方、集会所では最強王決定戦の「出東B A万博」や、射的、地区社協の綿菓子づくり体験、島大生によるオリジナルうちわづくりなど盛りだくさんなイベントが用意され、子どもたちの熱気に包まれていました。また会場には多くの中学生ボランティアも参加し、多くのブースで活躍していました。



とにかく子どもたちにも楽しんでもらおうと多くのボランティア団体によって運営されたたなばた会。スタッフの一人は「毎年暑くて大変だが、こんなに喜んでいる子どもたちを見ると頑張ろうと思う。来年ももっと盛りあげたい」と意気込んでいました。



暑さを跳ねのけるほどの大賑わい 出東子ども たなばた会



旧暦のたなばたの時期に合わせ、地域の子どもたちにも楽しい思い出を作ってもらおうと、8月2日(土) 出東子どもたなばた会がコミセンで開催され、大人から子どもまで400人を超える多くの人出で賑わいました。



人権について考えてみよう <Vol.9>



クイズ 親子(家族)ではなしあってみよう!!
~「ちがいのちがい」人権 O Xクイズ~

ルール 「あってもよいちがい」はO、「ない方がよいちがい」はXと考えます

<問題1>
人口に対して、日本にはたくさんの医師がいるが、ある国にはあまりいない。

<問題2>
お金持ちのGさんは学校で勉強ができるが、お金持ちではないHさんは学校に行けない。

小学校の学習公開で取り上げられた「人権O Xクイズ」を紹介します。親子(家族)ではなしあってみてくださいね。

みなさんは「あってもよいちがい」と思われますか? (O)、「ないほうがよいちがい」だと思われますか? (X)

皆様のご家庭、地域、職場で人権について考えるきっかけとして活用していただき、多くの皆さんの「人権への気づき」へつながり、一人ひとりが尊重される社会の「築き」につながっていくことを心から願っています。

6月
12日 木

命をつなぐ 救急処置体験講習会開催

出東コミュニティセンター専門部研修

出東コミュニティセンター専門部やサークル活動など日頃コミセンを利用している方27名が参加し、斐川消防署員を講師に救急処置の重要性・救急処置体験講習会を行いました。心停止の予防～早期認識と通報～一次救命措置までを的確・迅速に行うことで、救命率が高まることを学んだ後、専用の人形を使い早速、心肺蘇生(胸骨圧迫)の仕方を体験しました。



その後、AEDの使用法の講習を受け、参加した女性は「AEDと胸骨圧迫を交互に繰り返す、救急車が到着するまで手を休めないことが重要だと分かった。周りの人の協力が不可欠」と、感想を話していました。

6月
26日 木

松江城が今あるのは 出東人のおかげ

自主企画事業/高齢者福祉部

荒神谷博物館の館長で地方史学者の藤岡大拙氏による講演会が今年も行われ、郷土歴史ファン43名が熱心に受講しました。

今回のテーマは「出東よもやまばな史」。松江城天守国宝指定10周年に合わせ松江城の歴史から、出東郡の地形ができる様子や神社仏閣の話、出東のケンカ話まで様々な内容を盛り込んだ講演会となりました。

奇しくもこの日は藤岡氏の誕生日。93歳には思えないくらい若々しく、ユーモアを交えた軽妙な「藤岡弁」で、参加者は出東の地や人に想いを馳せていました。



7月
3日 木

出雲エネセン視察研修

出雲市環境保全連合会出東支部



日々家庭から排出される可燃ゴミについて、ごみの減量化や分別などに取り組んでもらうことを目的に、出雲エネルギーセンターの視察研修を実施し、各自治会の環境代

議員を中心に17名が参加しました。

搬入されたゴミ処理の流れについて空気を汚さないための技術の採用や、ゴミを燃やした熱で発電する「循環型社会」への取り組みなどを紹介するDVDを視聴。その後、実際に施設の処理工程を見学し、年間1世帯当たり708kgを輩出していること、よく水を切って出すことで燃焼効率が良くなることなどを学びました。

同施設では個人見学の受け入れや、子どもにも環境問題に関心が持てるよう見学者への趣向も工夫されています。

環境保全連合会出東支部では、毎年同施設への視察を計画し、広く適正なゴミ排出の意識啓発に努めています。

7月
3日 木

治水対策強化を求め総会を開催

宍道湖西岸堤防改修促進期成同盟会



沈下が進行している宍道湖西岸堤防及び五右衛門川堤防高上げ工事の促進や、斐伊川の堆積土砂掘削・雑木の伐採などを国・県・市に求め、水害に見舞われないための要望活動を続ける同会の総会が、JAしまね出東支店で行われました。

本年度から出東地区土木委員全員が役員となったほか、出東地区25自治会長の方々も新たに加わり、荘原、島村地区も含めおよそ100人余りが参加。国土省出雲河川事務所より宍道湖西岸堤防沈下の動態観測結果を、島根県出雲県土整備事務所からは五右衛門川築堤工事の進捗状況の説明をそれぞれ受けました。その後本年度の事業計画案や予算案などの説明があり、皆、熱心に話を聞いていました。

7月
9日 水

地域の課題解決を目指して

出東まちづくり会議

出東地区が抱える諸問題を整理し解決を図っていくと、飯塚誠自治協会副会長を座長に、地域団体、PTA代表など当地域で活躍する11名が参加し、第1回出東まちづくり会議が開催されました。

初顔合わせということで、マイブームを発表し自己紹介。その後無作為で3グループに分かれ「出東地区の課題は何か？」をテーマに話し合い、結果をそれぞれ発表しました。その中で、人口減少率の高さと理由、自治会のあり方、公共交通機関の未整備などが指摘され、今後内容を整理し次回の会につなげていくこととなりました。



出東と学童集団疎開

空襲による戦火が激しくなった昭和19年6月、政府は国民学校初等科児童の集団疎開を決定し、学童たちは安全な農村地帯へ疎開を始めた。斐川町の疎開については、町合併45周年を記念して出版された「斐川と学童疎開」に詳しい。

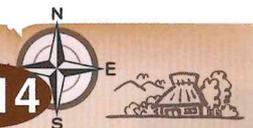
著書によると、昭和19年9月、第1次集団学童疎開として、斐川の村々は大阪市西区の堀江国民学校と西船場国民学校の児童を受け入れ、出東・久木は西船場校が対象となった。斐川はすべて寺が学童たちの宿舎となり、出東では、西光寺(4・5年女子37人)、喜見寺(4年男子24人)、万蔵寺(5年男子26人)、保寿寺(6年男子38人)を受け入れた記録が残る。

「万蔵寺での生活は、庭に置いたドラム缶の風呂で始まりまして。この地の男の人は戦争に行ったのか、あまり見かけませんでした。米どころでもあるにもかかわらず、使ってくださいと貸してもらった田で、田植え・草取り・稲か

古跡を訪ねて

出東歴史散歩

Vol.14



などを体験しました。田んぼに入ると蛭(ヒル)が何匹も足に吸い付きました。いなごもたくさんいたようです。(万蔵寺寮・5年 大阪 曾根亮一さん)

「喜見寺での生活の思い出はほとんどありません(短期間だったようです)。西光寺へ移ってからの事柄は少々思い出されるのです。地域の人からの差し入れもうれしかった。地元の同年代の友だちの家にも遊びに行ったこともあります。寺の前庭で野鳩を捕獲し、方丈様に「神国号」と名付けてもらい、しばらく飼育したことなど色々楽しかったことが多かったように思います」(喜見寺・西光寺寮・4年 愛媛 阿曾沼宏さん)

著書には、このほか疎開した幼き時代の辛くも楽しかった貴重な体験談が記されている。



▲宿舎となった出東の寺
写真は保寿寺

〈出典〉斐川町合併45周年記念出版「斐川と学童集団疎開—21世紀に伝えたい貴重な証言—」平成13年3月発行。

7月
9日 水

出東こども園で陶芸教室

出東陶芸クラブ

出東陶芸クラブで活動するメンバー5名が、ものづくり体験を通し喜びを感じてもらおうと、出東こども園の年長児25名を対象に陶芸教室を行いました。

子どもたちは、用意された板の上に粘土を乗せ、伸ばして平らにしたり、細長い粘土を重ねていったりしながら、一人ひとり工夫しながら「世界に一つだけの作品」を作りました。子どもたちは土の柔らかい感触がうれしくて、みな楽しそうに一生懸命作っていました。子どもたちが作った陶器は、その後、素焼・絵付けをし、同クラブの窯で本焼され、卒業記念に渡されることになっています。



出来上りのが
楽しみだね～!

7月
24日 木

読書感想文を書こう!

出東地区青少年育成協議会/出東地区人権・同和教育推進協議会

前荘原小学校校長の日野久美さんを講師に、読書感想文の上手な書き方や本の選び方のポイントなどを学ぶ「読書感想文を書こう!」が行われ、小学1年生から6年生までの20名が参加。今年は、人権・同和教育推進協議会と共催ということもあり、低・中・高学年に合う人権に関する本の紹介もありました。

読書感想文を書き始める前に、隣の席の子とペアになって自分が本を選んだきっかけと、本のあらすじをお互いに説明しあいました。それをノートに書き出し、講師の先生に添削してもらいながら読書感想文の始まりの部分を完成させていました。



コラム

地域のために頑張っています!!

出東わけもん会

出東わけもん会(高橋陽紀代表)では、地区文化祭や夏祭りでの出店をとおして地元の方たちとのふれ合い、絆を大切に育んできました。

どうすれば地域の人たちに喜んでもらえるのか、アイデアを出し合い試行錯誤を繰り返す中で誕生した名物のうどん。「出東文化祭といえばあのうどん!」と言われるくらいの歴史を紡いできました。

現在20名のスタッフが活動を通じて交流を深めています。中には小学生の頃から、わけもん会の活動に参加している人や、親子で参加している人、出東地区外からの参加など、参加理由はさまざまですが多くのスタッフに支えられています。

出東わけもん会では、活動に賛同していただけるメンバーを募集しています。私たちと一緒に出東を盛り上げていきましょう!



今年の出東子どもたなばたまつりでは、かき氷、から揚げ、フライドポテトを販売



7月
29日 火

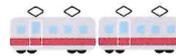
鉄道でゴー&自衛隊を探検

自主企画事業/企画広報部

鉄道に乗り親しんでもらおうと、大田市駅で駅長を務められた三宅島自治会の佐藤篤司さんを講師に、小学生10名と保護者が参加し、荘原駅から大田市駅までJRに乗車し鉄道について学びました。荘原駅では早速乗車券の購入方法を教わり、大田市駅までを購入。普通列車で出雲市駅に到着すると、同時刻にホームに到着した寝台特急サンライズ出雲や特急やくもをバックに記念撮影し、目的地の大田市駅に向かいました。

大田市駅では、駅構内で実際のアナウンス原稿を読み上げたり、切符の改札印押印など貴重な体験をしたほか、駅員の方が用意した鉄道クイズにも真剣に答えていました。帰りは特急スーパーおき2号で出雲市駅へ。午後からは陸上自衛隊出雲駐屯地を訪問。入構早々、16式機動戦闘車の走行訓練に遭遇し子どもたちは大喜び。陸上自衛隊の組織や役割について話を聞いた後、資料室見学、売店では目当ての商品を品定めしていました。

参加した小学2年生の男子は、「大田市駅で電車の名前や時間のアナウンスをした。マイクの前ではドキドキしたが、駅員さんがやさしく丁寧に教えてくれて上手にできた。ほめてもらってうれしかった」と喜んでいました。また5年生の女子は「電車の事を知ることができてよかった。今度はサンライズ出雲に乗ってみたい」と話していた。



おじゃまします

出東のお仕事拝見!

Vol.12

代表取締役の
高橋陽紀さん



高品質な塗装技術で 地域社会に貢献したい

塗装の事なら何でも安心してお任せください!と意気込む高橋代表。
塗装された製品が並ぶ工場内へ入ると、自動車部品のライン塗装や6mの設備でも焼付可能な大型乾燥炉に目を奪われる。

昭和54年11月創業で、斐川西工業団地の一角に位置する同社。陽紀さんが3代目として母親から事業を受け継ぎ、兄妹3人で会社を運営。今年で46年目を迎える。

メラミン・ウレタン・粉体・フッ素の金属焼付け塗装全般を施工し、産業用製造ライン装置や建築用パネル等金物や景観商品まで手掛けており、大物は6m定尺製品の焼付塗装が可能。また塗装下地処理としてリン酸鉄の被膜処理を施し、塗装性能のトータルアップを実現している。長年培ってきた塗装技術と設備を活用し、厳格な品質管理のもと、美しさと性能を兼ね備えた高品質な製品を提供することに社員一丸となって努めている。

高橋代表は、出東わけもん会を中心に地域貢献活動を行い、地域とのつながりを大切にしている。「お客様のニーズを最優先に考え、柔軟かつ迅速な対応を心掛けている」と話す高橋代表。ものづくりを通じてより良い未来を築き、地域社会の発展に貢献したいと今日も製品と向き合う。

INFORMATION

株式会社美装

●出雲市斐川町神水2535-8 ●TEL0853-73-3311
●E-mail bisou@izumo-net.ne.jp ●従業員 9名

8月5日 火

住み続けられる地域のために 出東地区たすけあい活動研修会



出東地区社会福祉協議会・出東地区自治協会

今年10月から開始する予定の有償ボランティア組織「たすけあい出東」の協力会員を広く募ろうと研修会が開催され、関心のある24名が参加しました。

昨年の研修会に続き2回目の今回は、「具体的に手伝えることは何か」を中心に、出雲市社協の大錦清文さんの講演を聞いた後、各チームに分かれ、困っていること・手伝えることのカードゲームを体験。参加者は自分が出来ること・手伝えることを再確認しました。

この「たすけあい出東」は、10月19日(日)に開催の出東文化祭でも、協力会員と困った時をお願いをする利用会員を募集することになっています。



8月16日 土
17日 日

子どもたちの成長が光った コミセンお庭キャンプ

自主企画事業/子育て部、共催・出東地区災害対策委員会

子どもたちと保護者の34名が参加し、災害時の避難所生活でも役立つ体験をしようと、コミセン広場で初心者向けキャンプを行いました。2年目の今年は昨年に続き参加の子どももいて、準備や片付けの手際もよく、成長を感じられる場面もたくさん見られました。

県キャンプ協会の講師3名による、カレーづくり、テント設営や羽釜を用いた炊飯の指導、ファイヤースターターを用いた火起こしなどを体験。夕飯には、自分たちの作ったカレーを、地域ボランティアの人たちと美味しくいただけていました。

夜になるとペットボトルで作るLEDランタンづくりをしながら順番に、事前にスタッフが汲んできた湯の川の温泉シャワーで汗を流しました。

あっという間に寝付いた子どもや、おしゃべりに夢中になって遅くまで起きていた子どももいて、皆思い出に残ったキャンプ体験となりました。



触れ合い遊び、思いやりを学ぶ 小学生保育体験

8月6日 水
7日 木

出東地区社会福祉協議会

出東小6年生の児童18名が2日間出東こども園を訪れ、遊具などで一緒に遊ぶ保育体験をしました。

乳幼児たちとの交流を通して、思いやりや慈しみの心を育ててもらおうと、地区社協が毎年夏休みのこの時期に企画。保育体験に参加した一人は「小さい子が、お姉ちゃんと慕ってくれて可愛かった」別の児童は「自分もあんなふうな幼い時期があったんだと改めて感じた」と感想を述べていました。

お別れの会では、幼児たちのお礼の言葉と「思いやりの心で学校や地域で活躍して」と記された終了証を受け取り、参加した児童たちは、保育体験を通じて少し成長したように思われました。



出東mama塾

お母さんたちの活動で 地域を元気に!

出東在住のママたちの繋がりを目的とし、孤独なママや困っているママをサポートしながら、地域の人たちとの繋がりや地域の活性化をお手伝いしています。

主な活動は、学用品のリサイクル、おさがりマルシェなどを実施。今年の夏休みには元小学校の先生を招いてコミセンを会場に「宿題ラストスパート」を開催し、子どもたちの居場所づくりのサポートをしました。

サークルさん++
いらっしや~い

待ってま~す!



8月21日に行った宿題ラストスパートには、小中学生20名が参加。お昼はmama塾特製カレーライスをいただきました。

斐川交番 出東地区担当です!

斐川交番の安井舞姫と申します。本年8月から出東地区を担当することになりました。出身は松江市で、来年の3月に20歳になります。子どもの頃から憧れていた職業、念願がなって警察官になることができました。

「事件・事故のない出東地区」を目指し微力ではございますが、頑張りますのでよろしく願います。巡回連絡、交通安全教室等で皆さんに会えるのを楽しみにしています。私を見かけたら気軽に声を掛けてください。

安井 舞姫(やすい まき) 巡查

The Voice

~ 皆さんの声 ~

愛犬の散歩を日課としていますが、ペットボトル・空き缶・食べ物の袋などが捨てられているのをよく目にします。時にはゴミを入れた袋ごとか、処分された葉なども捨てられており、コロナの頃にはマスクもよく落ちていました。犬は啜えたものはなかなか離さないため、啜えたゴミを取ろうとして噛まれたことも何度もあります。まさに「飼い犬に手を噛まれる」です。10月26日(日)にはクリーン大作戦が予定されています。自然豊かな出東なので、犬も安心して散歩できるきれいな町に皆でしていければと思います。

(黒目 50代 男性)

●皆さんの声を募集しています!!

ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じて地域の福祉事業に活用させていただいております。

香典返し 金一封 岡田 徹 様(松江分)

香典返し 金一封 大菅 誠二 様(碓下)

ご厚志誠にありがとうございました。

Follow Me! //

出東コミュニティセンターのInstagramやってます!
最新情報をアップしています。
フォローよろしくお願います。

Instagram



@SHUTTOUCC



INFORMATION

出東コミュニティセンターから

出東コミュニティセンターや地域各団体の主催事業・活動で、撮影した写真をアンテナ出東や、コミセンホームページ、インスタなどのSNS等で掲載させていただく場合があります。あらかじめご了解よろしくお願います。